

## 令和8年度 体力診断事業アスリート診断 Q&A

Q 競技団体の複数チームも可能とは、具体的にどのようなケースか。

A 例として、陸上競技で診断希望があった場合、①短距離選抜 ②跳躍選抜 ③投擲選抜というケースが考えられます。同様に、球技であればポジションで分けることも考えられます。

また、同一競技団体から選抜の複数チーム、競技団体が指定する学校の部活動チームという組み合わせも考えられます。

Q この事業はどのように周知されているのか。

A 年度当初に、事業対象となる競技団体へ県スポーツ協会を通じて、次の書類を送付しています。また、秋田県内の全高等学校へは秋田県スポーツ科学センターから送付しています。さらに、秋田県スポーツ科学センターのホームページにも掲載しています。

- 1 令和8年度体力診断事業アスリート診断実施要項
- 2 令和8年度アスリート診断実施日決定までの流れ
- 3 令和8年度アスリート診断実施希望調査用紙・記入例
- 4 令和8年度アスリート診断実施可能日（年間予定）
- 5 令和8年度体力診断事業アスリート診断Q&A

これらの書類を競技団体の事務局担当者と強化担当者で共有した後、関係する指導者やチームへ競技団体内で情報提供をし、競技団体として事業の活用や対象チーム（選手）の選定をしてください。

Q フィードバックについて詳しく知りたい。

A 診断当日の午後に実施します。秋田県スポーツ科学センターのトレーニングアドバイザーからは、その日の測定結果を踏まえて、フィジカル面についてフィードバックを実施します。その他に外部アドバイザーとして、メディカル（ドクター）・栄養（スポーツ栄養士または管理栄養士）・コンディショニング（トレーナー）のいずれかの領域から測定結果や当日の聞き取り等からフィードバックがあります。外部アドバイザー領域は診断の申込時点で希望することができますので、チームの状況等に応じて希望をしてください。ただし、外部アドバイザーの都合により、ご希望が叶わないこともありますのでご理解ください。

Q 事前提出書類について確認したい。

A 診断日の**3週間前**までに受診者名簿の提出をお願いします。受診者名簿がスポーツ科学センターへ到着次第、採血・採尿検査の手続きや選手・指導者の所属長宛て依頼文書作成、フィードバックアドバイザーへの依頼といった作業に入ります。

診断日の前日までに承諾書の原本をスポーツ科学センターへ郵送で提出するか、写しをメールで提出してください。写しを提出した場合は、当日に原本を持参してください。前日までに提出していただく理由は、採血・採尿検査や体力測定への保護者同意を確認したいためです。ご協力をお願いします。

また、栄養のフィードバックがあるチームは診断日当日に食事調査用紙（3枚セット）の提出もお願いします。

様式はすべて秋田県スポーツ科学センターホームページよりダウンロードをしてください。

Q トレーニングアドバイザーの巡回指導とはどのようなものか知りたい。

A スポーツ科学センターには、フィジカルのトレーニングアドバイザーが勤務しており、アスリート診断時にはアドバイザーから結果についてのフィードバックがあります。その際に出る諸課題について、アドバイザーが日常の練習や強化練習会へ出向き、その後の取り組みや指導者への助言、指導を行います。

アドバイザーが出張する旅費等はスポーツ科学センターが負担します。各競技団体の希望日程を調整しての派遣となりますが、ぜひ活用してください。